

いのちの**カガヤキ**が詰まった 広報誌

玉ふれあい 穂だより

2014
11月
秋号

×—————×
創刊
vol.01
—————
TAKE FREE
ご自由にお持ちください
—————
医療法人 どちらペインクリニック
×—————×



目次 INDEX

2 理事長 創刊のあいさつ

○玉穂ふれあい診療所の医療と私たちの姿勢

4 人と人がつながる力を、医療の力に。

○医療法人 どちらペインクリニック 部署の紹介
～私達の医療力の源～

11 インフォメーション

診療所からのお知らせ

○季節到来！インフルエンザワクチンを受けよう
○重度心身障害者の医療費の助成方法が変わりました

12 編集後記

施設のご紹介

○玉穂ふれあい診療所
○玉穂訪問看護ステーション



理事長 創刊のあいさつ

玉穂ふれあい診療所の

医療と私たちの姿勢



日本はいま「超高齢社会」を迎えつつあります。「歳は取っても健康で長生きしたい」はみんなの願いです。自分の事は自分でできる寿命が「健康寿命」です。この健康寿命を長く、そして、逝くときは「ほっくり」と。こうした生き方を誰もが望んでいます。

こうした人生を支えるキーワードは「かかりつけ医」です。

普段の健康管理と高血圧や糖尿病などの慢性疾患の治療・管理、風邪やけがなどの時はすぐにかかれる「お医者さん」です。そして、普段の診療で見つけた「がん」など高度な検査や手術が必要な時には大学病院などの基幹病院に紹介します。

かかりつけ医は病気の早期発見早期治療の最前線の役割を担うことになり、ます。基幹病院での集中的な治療が終

われば、また自宅で療養できるように病院と協力して治療に当たります。

そして、いよいよ人生の最期を迎えるときには、自宅であれ施設であれ、その当人と家族が望む場所で過ごせるようにします。

私たちは、この「かかりつけ医」であることを大切にしています。

私たちは、地域の人々と一緒に、中央市当局とも協力し合いながらみなさまの健康寿命を守り、みんなで人生を楽しめるように努めています。

また、玉穂ふれあい診療所は、痛みの専門（ペインクリニック）医療機関であり、漢方の学会認定施設でもあります。そして、有床診療所としての19床の入院施設は、かかりつけの患者さんが体調を崩し入院が必要になったときに直ぐに使えます。

かかりつけ医は病気の早期発見早期治療の最前線の役割を担うことになり、ます。基幹病院での集中的な治療が終





DPC

医療法人 どちらペインクリニック



- 1992年6月1日
どちらペインクリニック(昭和町清水新居)開業
- 1996年7月25日
医療法人どちらペインクリニック 設立
- 1996年11月1日
昭和訪問看護ステーション 開設
- 1998年8月1日
田富訪問看護ステーション 開設
- 2000年4月1日
玉穂訪問看護ステーション 開設
- 2003年7月28日
玉穂ふれあい診療所 開設
(ホスピス機能を有する有床診療所) 開設
- 2011年3月1日
訪問看護ステーションを
玉穂訪問看護ステーションに一本化
- 2011年7月1日
訪問リハビリテーションを開始

また、がん患者さんの痛みを除き、
も癒す全人的な緩和ケアを行う入院施設
でもありません。

「在宅医療」は、私たちの柱の一つで
す。「どちらペインクリニック」として開
業したときから二十数年間、在宅医療
を行ってきました。

在宅医療は多くの職種の人々と協力
しあわないとできません。玉穂訪問看
護ステーションは以前の施設ですが、

その他多くの職種のたくさんの人々と
一緒に協力し合っています。

また、特別養護老人ホームの嘱託医
としても関わっています。

こうして、入院・自宅・施設で看取
る人々は年間200名を越えます。

「かかりつけ医」として健康生活を維
持し最期まで診きる。これが私たちの
姿勢です。職員みんなが仲良く協力し
合ってその役割を全うしていきます。



理事長 どち くにひこ 土地 邦彦

Kunihiko Dochi

【略歴】

日本麻酔科学会麻酔科専門医
日本ペインクリニック学会専門医(功労会員)
日本東洋医学会専門医・指導医

1947年 富山県生まれ

1974年 信州大学医学部 卒業

1975年 信州大学医学部 麻酔学教室

1977年 巨摩共立病院 麻酔科

1978年 巨摩共立病院にて、

山梨県内初のペインクリニック外来を開設する

1984年 甲府共立病院麻酔科 科長

1992年 どちらペインクリニック開業

1996年 医療法人どちらペインクリニック 理事長

2003年 玉穂ふれあい診療所 院長

ペインクリニック、緩和医療、漢方診療、在宅医療などの経験
豊富です。「すべての人は痛みから開放されねばならない」「病
よりもまず人を診る」をモットーに診療にあたっています。

特集

人と人が つながる力を、 医療の力に。

医療法人 どちらペインクリニック 部署の紹介
〜 私達の医療力の源 〜

医療法人 どちらペインクリニックは患者さんを第一に考え、地域に根づいた診療所、在宅医療を指すと共に、良質な医療サービスを提供できるよう、日々努力しています。

良質の医療サービスを提供するためには、そこに立ちほだかる様々な難題も存在します。それに立ち向かい解決するには、専門的知識を持つ医療スタッフが不可欠です。しかし、いくら知識や経験が豊かでも、一人のスタッフには限界があります。

そこで、重要なのがチームワー

クです。当院では、各部署内はもちろん、部署の垣根を超えた情報交換や交流、勉強会などが盛んに行われています。こうした人と人のつながりが業務においても効果的な連携を生み、良質な医療サービスにつながっています。一人と人がつながる力を、医療の力に。それが、私達、医療法人 どちらペインクリニックのスタッフの医療力です。

それでは、私達の医療力の源である各部署の紹介をしていきたいと思えます。

医師の紹介

麻酔科・ペインクリニック

神経ブロックを中心に、腰痛、带状疱疹後神経痛などの痛みや、顔面神経麻痺、突発性難聴などの治療を行います。



土地 邦彦



今井 祐介

内科

高血圧症、脂質代謝異常症などの慢性疾患を始め、禁煙外来や睡眠時無呼吸症候群の検査、CPAP治療にも取り組んでいます。



高田 慧子



楠 真

緩和医療

各種がんによる痛みなどの症状コントロールを行ない、残された時間をその人らしく過ごせるようにします。



土地 邦彦



高田 慧子

漢方外来

花粉症やアレルギー疾患をもとから治すには漢方薬が有効です。ひとり一人の身体にあったお薬を処方します。



中田 薫



土地 邦彦

医局ってどんなところ

医局は、常勤医2人、非常勤医3人が在籍しています。医局とは医務を扱う

行っています。一つの部局、簡単に言うと医者としての仕事をすすめる所です。私たち医師は外来、病棟、在宅診療を



部署
1 医局

地域に根づいた
かかりつけ医を目指して

～医局からのミニコラム～ 教えて！どち先生！

Q 最近、かかりつけ医という言葉をよく聞きますが、かかりつけ医ってどうして必要なのですか？

A 急な体調不良や健診異常などで、どこにかかったらいいか悩んだ経験はありませんか？ いざという時に相談できるお医者さんを持っていると、安心です。普段のあなたの健康状態をよく知っている身近な先生が、必要な時にふさわしい病院を紹介します。

Q 最近、歩くことが難しくなり通院ができない日が多くなりました。どうしたらいいですか？

A 当院では、外来通院が困難になった患者さんに対して、医師が自宅に訪問する「訪問診療」を行なっています。定期的に診察をすることで普段の体調を把握し、急な体調不良にも対応することができます。また必要時には当院での入院治療も可能です。

Q 私はがん治療を受けていて、痛みが出てきて困っています。どうしたらいいのでしょうか。

A 痛みは治療中でも、我慢をせずに早めから緩和することが大切です。主治医の先生と連携を取りながら、痛みの治療を受けることもできます。





皆さんの健康を守る おもてなしの外来診療と検査

外来ってどんなところ

診療所の外来待合室は、大きな吹抜になっていきます。太陽の光がやさしく差し込み、あたたかく心地良い待合室が患者さんをお待ちしています。

毎日スタッフ一同、地域の皆さんの健康を守るべく奮闘してります。看護師は採血、血圧測定はもちろん普段の様子を聞いたり、どうしてもらいたいのか、ご本人、家族の困っていることを確認してから診察を受けてもらうようにしています。いつでもなんでも相談できる雰囲気作りにも努力しています。



熱のある人、おなか痛い人、腰痛・肩こりのある人、高血圧症、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病や慢性疾患の日常的な健康管理が必要な人、がんの痛みのある人など色々な患者さんが来院されます。少しでも早く診察してい



患者さまのさまざまな想い それを受け止め、紡ぐ相談を

地域連携室ってどんなところ

地域連携室は、ふつくら3人組の看護師が担当しています。



初めて当院にお越しの際、様々な思いを抱えて来院されていることと思います。「私達は、どんなことでも何でもお聞きしよう!」「帰られるときは、笑顔で安心して帰っていただくこと!」をモットーにしています。

○入院したいけどどうしたら良いの?
○自宅へ先生に来てもらうにはどうしたら良いの?

○医療費は、どれ位かかるの?・

○病気で今後どうしたら良いの?・

○介護保険って何?どう手続すれば良いの?・

などなど、心配なことや不安に思っていることをお聞かせください。



入院・在宅医療相談日

月・水・金曜日の午前中と火曜日の午後の診療時間と並行して、ご相談をお受けします。

ご相談にあたり、ご用意いただく物があります。また、ご相談には時間の余裕をもって来院していただきたいと思えます。希望される人は、お電話ください。

地域連携室は、診察室の中待合の奥にあります。お気軽に声をかけてください。トイレはどこですか、車椅子はありますかなど・・・まずは顔馴染みになりませんか。

相談日	月	火	水	金
午前9時～正午	○	△	○	○
午後3時～6時	△	○	△	△

部署 4 事務所



当院で一番はじめに顔を合わせる相手が私達

患者さんが当院で一番はじめに顔を合わせる相手がきっと私達です。受付に来られた患者さんとの対応次第で当院に対する印象が大きく変わる重要な

診療所の顔です



事務所ってどんなところ

事務所は、事務7人にて業務にあたっています。私達は、患者様の受付・会計業務にはじまり、カルテ管理やクランク業務、レセプト業務など幅広い事務業務を行っています。

役割を担っています。まさに「診療所の顔」なのです。

また、患者さんに医療サービスをスムーズに提供できるよう、医師や看護師などの他部署と患者様の間に立ち、連携を密にして、作業が滞り無く回るように調整や準備をすることも、私達の仕事です。

月に1度の大事なレセプト

レセプトとは、患者さんの1か月の診療内容を点数(1点10円)に置き換えた請求書のこと。私達はこのレセプトを作成し、国の支払い機関に提出することで、当院は診療費を受け取ることが出来ます。

この業務を疎かにしてしまうと、診療費を受け取れなくなるだけでなく、当院は患者さんに適切な医療サービスを提供できなくなります。このように、レセプト業務は私達にとって、月に1度の大事な仕事なのです。

これからも、私達は患者さんのことを第一に考え、患者さんに寄り添える事務所を目指して行きたいと考えています。

部署 5 ふれあい喫茶



待ち時間は喫茶へ
おいしい珈琲で楽しい時間を



喫茶ってどんなところ

外来の待ち時間がどうしても出来てしまいます。そんな時は、ぜひ待合室の隣にある「ふれあい喫茶」にお立ち寄りください。お話ししながら美味しいコーヒーを飲んで、楽しい時間をお過ごしください。外来や病棟の患者さん、近所の皆さん、どなたでもご利用いただけます。お客様は男性の人も多いです。お1人でも気軽に立ち寄りください。

人気のパン屋さん

毎週、南アルプス市の空我さんより焼き立てのパンが入ります。コーヒーを飲みながら人気の美味しいパンをお召し上がりください。ご家族やご友人にプレゼントしても喜ばれますよ。



【入荷日】月曜日：午前9時30分
水・金曜日：午前11時
※ご予約も可能です。

売店

オムツなどの介護用品を取り揃えています。スペースが限られているので展示品となっています。ご希望の品がありましたらお気軽にお声掛けください。また、同じスペースで駄菓子や半生菓子なども販売しています。コンビニに売っていない懐かしい商品もありますよ。



入院中の患者様に寄り添い 一緒に生きること

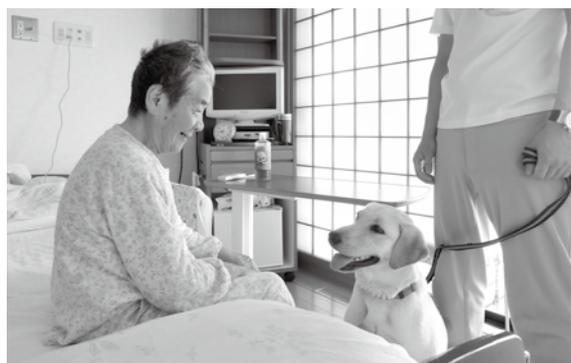
病棟ってどんなところ

病棟には、看護師と介護アシスタントが勤務しています。中には音楽療法士や美容師、臨床心理士、アロマセラピストの資格をもつ職員もいます。カンファレンスの時間を大切に、患者さんとそのご家族が過ごされるかけがえない時間にごようなお手伝いができるのか、それぞれの専門性を活かしたケアの在り方を皆で考えています。

当院では疼痛緩和に力を入れていますが、それは病棟でも同じです。痛みが取り除かれることで希望が湧き、考えや行動に広がりが生まれるからです。また地域に根ざす診療所を目指しており、最期の時を自宅で過ごしたいと希望があれば、家での生活をサポートするよう在宅医療との連携を図っていきます。

疼痛緩和の先にあるものへ

私たちは、患者さんとご家族に寄り添い、「生きる」ことを支えていきたいと願っています。患者さんの娘さんの結婚式を企画し、診療所で行ったこと



入院患者さんとセラピードッグのリリーちゃん。病室に癒しの出張サービス中。

もありです。臨機応変な対応を心がけながら、疼痛緩和の先にある穏やかでその人らしい生活を援助することを目指しています。

動物とのふれあい

アニマルセラピーも盛んに行われており、セラピードッグのリリーちゃんとセラピーキャットのビリーちゃんが活躍しています。動物との触れ合いに、患者さんだけでなく職員も日々癒されています。



病院食ではない あたたかい家庭食を提供

厨房ってどんなところ

栄養士2名、調理師2名にて厨房業務を行っています。主に献立作成、食材発注、仕込み、調理、食器洗浄を行っております。職員への食事提供も行っており、患者様同内容の食事提供となっております。

病院食のイメージ

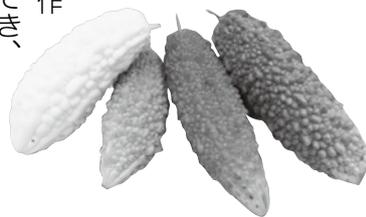
病院食のイメージは「マズイ」「彩り悪く貧相」「治療の為なら仕方ない」等マイナスな印象ばかり耳にします。入院中の楽しみのものである食事に対してマイナスな印象を持ってしまうと食欲も湧きません。

しかし、当院の食事は一味違います。入院患者さん、外来患者さん、在宅訪問患者さんのご家族やご近所の農家の皆さんより畑で収穫した新鮮な野菜や果物を差し入れして頂ける事が多く、それらを活かし調理師と栄養士にてアイディアを出し合いながら全て手作りにて調理提供を行っています。

旬の食材を美味しく頂ける事が何よりご馳走であり、とても有り難いです。

気候や時期により野菜や果物の価格は大きく変動するため、経営的にもとても助かります。

また、当院内にも畑を設けており、季節に応じて様々な作物の成長を目で楽しむ事ができ、活躍してくれています。今年の夏は当院のグリーンカーテンであるゴーヤが豊作でした。ゴーヤを使い佃煮を提供した所、とても好評でした。



器にも、こだわりを

食器についても家庭の雰囲気を感じて頂く事を重視し、陶器の食器にて召し上がって頂いています。

また、箸置きもとても力強い食事の楽しさを感じて頂ける工夫を行っています。



訪問リハってどんなところ

理学療法士宮下が1名体制で日々奮闘しています。元気でやる気のある職員を募集中です。



その人にあつたりリハビリを

訪問リハビリは病気や障がいを感じかけになかなか自宅から出る機会のない人にリハビリ職員がご自宅に伺わせて頂き、その人にあつたりリハビリを行います。安全に自宅で生活するために必要な起きる、立つ、歩くなどの基本的な動作の獲得練習や福祉用具の提案を行ったり、外への散歩に行くことがリハビリの人も内容は様々です。

最近では癌を患い、リンパ浮腫になった人のリンパドレナージを行うことも増えてきています。その人らしく自宅で生活するために、「何事もチャレンジ」をモットーに日々奮闘しております。訪問リハビリにご興味のある人は担当ケアマネージャへ相談または当院へお問い合わせください。

リハを通して

日常生活の自立を支援する

部署

8

リハビリテーション



家族、近所の皆さんと大人数で花見をした様子



毎週、親友の職場を訪問することが習慣です

訪問看護ってどんなところ

玉穂ふれあい診療所の同敷地内に訪問看護ステーションの事務所があります。訪問看護師は6人で平均年齢は46歳。雨の日も風の日も大雪にも負けず、「笑顔と元気」を届けています。そして「その人らしく、我が家で生活できる」事を大切に、ケアを実践しています。

訪問看護とは、定期的に利用者さんのお宅に伺い、看護ケアや介護のお手



伝いをしています。

体調管理や床ずれの処置、胃ろうや膀胱カテーテル、人工呼吸器の管理などの医療処置や、日常生活の援助として、食事指導や清潔援助（清拭や入浴介助）、排泄援助、などを行っています。

また、「最期を、住み慣れた我が家で迎えたい」という希望が叶えられるよう、主治医や地域と連携し、全力でお手伝いさせていただきます。

こんな事で困っていませんか

- 初めての介護でどうしたらいいのかわからない
 - 食事を食べなくなった
 - 退院後の生活が心配
 - 介護者が高齢である
 - おむつ交換が上手く出来ない
 - 足腰が弱くなり歩かなくなった
 - もしかして認知症かも？
- 訪問看護は、介護や看護を必要としている人ならどなたでもご利用できますが、利用される人は、医師の指示が必要になります。かかりつけ医師に相談するか、当ステーションにお気軽にご相談ください。

住み慣れた我が家で

その人らしい生活をサポート

部署

9

玉穂訪問看護ステーション

部署 10 システム・施設



診療所になくしてはならない
縁の下の力持ち

システム・施設ってどんなところ

私たちの仕事は診療所周りの環境を管理することや施設内のコンピューターの管理、外部関係機関との連携など多岐にわたり業務を行っています。診療所内では患者さんにとって目につくづらい仕事となっていますが、縁の下の力持ち的な仕事ができるように日々取り組んでいます。

患者さんの送迎

通院が困難な場合には、自宅から診療所まで送迎を行う事もあります。



院内コンピュータの管理

当院では、電子カルテを導入しており、院内各所に設置されているコンピュータでカルテを閲覧することができます。そのコンピュータやプリンターの管理を行うこともシステム・施設部門の仕事のひとつです。より良い医療を提供できるよう、また、職員がコンピュータを快適に利用できるように日々取り組んでいます。



環境整備

私達施設では院内環境整備も担当しております。多数のボランティアの皆さんと一緒に冬から春にはパンジー、ビオラ、チューリップ、夏にはバラ、日々草、百日草、松葉ボタン、秋には菊、四季おりおりの花を育て咲かせています。又通年を通して芝の手入れも欠かさず行っています。



一冬の心温まる暖を

外来待合、病棟ラウンジ、研修棟の3箇所に薪ストーブを設置し、冬の暖房の一翼を担っています。一冬に軽トラ約30台の薪原木を必要としますが全て患者さんやその友人、知人などの大勢の皆さんの無償でのご協力により一冬の心温まる暖を取る事が出来ています。

環境保護活動

二酸化炭素削減と環境保護活動の一環として、微力ですが、夏エアコン使用量の削減、節電対策等を踏まえ、ゴーヤ栽培での緑のカーテン、芝生植生による屋上緑化、庭木の育成等に力を注いでいます。



ゴーヤ栽培による緑のカーテン



芝生植生による屋上緑化

季節到来

予防は早めに！インフルエンザワクチンを受けよう

インフルエンザ予防接種の
予約を受付中です

当院では、現在インフルエンザ予防接種の予約を受け付けています。ワクチンを接種し十分な抗体を獲得するまでに、約1か月かかりますので、ご予約後、早めに接種にいらしてください。ワクチンの効果は約6か月持続します。

接種年齢と接種方法

年齢	回数	方法と間隔
13歳未満 (生後6か月以上 で12歳まで)	2回	1回目の接種日より、2～4週間(できれば4週間)あけて2回目を接種します。
13歳以上	1回 (2回も可)	通常1回接種ですが、2回接種することもできます(接種間隔はおおよそ1～4週間)

インフルエンザの特徴

「インフルエンザ」は、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。普通の風邪よりも急激に発症し、つぎの症状が現れ、重いのが特徴です。

● インフルエンザの症状 ●

潜伏期間 …… 1～3日
 感染経路 …… おもに飛沫感染
 発症 ……
 急激に38℃以上の高熱が出る
 症状 ……
 悪寒、頭痛、関節痛、倦怠感などの全身症状、咳、痰(たん)、呼吸困難、腹痛、下痢などの胃腸症状など

インフルエンザの種類

人に感染するインフルエンザウイルスには、A型・B型・C型の3つがあり、現在流行の中心となっているのはA型とB型です。

A型は症状が重篤になる傾向があり、死に至ることもあります。また感染力が強いので、大流行(パンデミック)を起こしやすい、過去には香港かぜや

インフルエンザ予防接種は、肺炎球菌ワクチンと一緒に接種しましょう

肺炎は日本人の死因の第3位になっています！65歳以上の人は、インフルエンザの予防接種と同時期に肺炎球菌の予防接種も受けるとさらに効果的に肺炎を予防することができます。対象年齢によって、定期接種で公費助成が受けられます。詳しくは、お問い合わせください。

スペインかぜなどの世界的な流行で多くの死者を出しました。2009年に世界中で流行したいわゆる「新型インフルエンザ」は、A型、H1N1亜型というものでした。

B型は、A型よりも症状が比較的軽く、限られた地域で流行するケースが見られます。C型は鼻かぜ程度の軽い症状ですむことが多いウイルスです。

重度心身障害者の医療費の助成方法が変わりました

平成26年11月より、窓口無料方式から自動還付方式に変更になりました。助成方法が変更となるだけで、証書の更新は継続して行われますので、対象の人は来院時に窓口へ提示をお願いします。

● **重度心身障害者医療費助成制度とは**
 つぎの対象の障がいをお持ちの人の保険適用医療費を全額助成する制度です。

- 対象
- 身体障害者手帳1～3級
 - 療育手帳A
 - 精神保健福祉手帳1・2級
 - または障害基礎年金1・2級受給者
 - 特別児童扶養手当受給者

● **助成制度がどう変わるのか**
 医療機関等の窓口で一度医療費を支払っていただき、3か月後に医療費が登録口座に自動的に振り込まれる方法の自動還付方式に変更になりました。

● **医療費の支払いに不安があるときは**
 必要な資金を事前にお貸しできる貸与制度があります。詳しくは、お住まいの市町村窓口へお問い合わせください。

編集後記

このたび、より多くの皆さんに当院の特徴や取り組みについて知っていただきたく、広報部かがやきを発足させ、広報誌「玉穂ふれあいだより」を創刊しました。「玉穂ふれあいだより」では、職員や各部署の紹介・専門外来のお知らせなどの情報を随時掲載していきます。年2回(4月・11月)の発行予定です。院内の各場所にも設置してありますので、ご自由にお持ち帰りください。



広報部かがやきをよろしく申し上げます。

施設案内

玉穂ふれあい診療所

〒409-3815 山梨県中央市成島2439-1
☎055-278-5670



●総合診療(一般内科)

生活習慣病(高血圧・糖尿病・高脂血症)、急な病気やけが、健康診断、職場健診、禁煙外来、予防接種

●ペインクリニックー痛みの総合的診療ー

帯状疱疹(後神経痛)、頭痛、肩こり、顔面痛、首の痛み、椎間板ヘルニア、がん性疼痛、鞭打ち損傷、顔面神経麻痺、突発難聴など

●在宅医療

寝たきり又は、寝たきりに準じた方の訪問診療(訪問看護)

●漢方医学ー漢方医学的診断に基づく保険診療ー

易疲労、食思不振、便秘、下痢、冷え、頭痛、めまい、肥満症、神経性胃炎、慢性疲労症候群、過敏性腸症候群、更年期障害、アトピー性皮膚炎

●緩和医療ーホスピスケアー

症状コントロール、家族も含めた心のケア、療養についての相談

●入院ー緩和ケア(ホスピス)医療のできる入院施設ー

自噴温泉、特殊浴槽、ゆったりとした病室、自然の中で暮らせる環境

診療時間

一般外来	月	火	水	木	金	土
午前9時～正午	○	○	○	△	○	○
午後3時～6時	△	○	△	△	○	△

玉穂訪問看護ステーション

〒409-3815 山梨県中央市成島2439-2
☎055-240-3366



●看護・医療処置

定期的な病状観察(体温・脈拍・呼吸数・血圧測定)、注射・点滴・採血などの処置、服薬指導/管理、褥瘡予防/処置、排便コントロール、各種カテーテルの管理(胃ろう/膀胱留置カテーテルなど)、在宅酸素療法の管理、人工呼吸器の管理、機能訓練/口腔機能訓練、四肢の関節可動域運動、緩和ケア(精神的ケア/家族支援/看取り)

●日常生活の援助

食事指導、清潔援助(口腔ケア、清拭、入浴介助、更衣など)、排泄援助

●介護の相談

日常生活全般における介護方法についての指導、保健・福祉サービスについての情報提供



交通案内